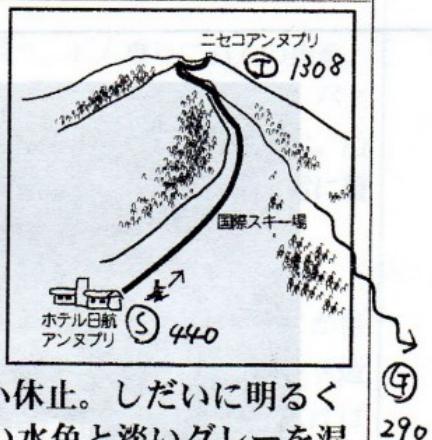


山名	ニセコアンヌプリ	報告者	渡辺 昭二
この山の セールスポイント	羊蹄山と向合い、高度感のあるパウダーライディング		
コース及び タイム	12月9日（土） 天候（晴） ホテル6:10～最終ゴンドラ乗り口7:20～小ピーク 8:30～東山プリンス新館10:30～ホテル11:00～ 昼食～ホテル13:30～ゴンドラ～小ピーク14:45～ ピーク15:00～小ピーク15:24～ホテル16:20		
標高差	$\Delta S 440 \sim T1308m \approx 868m$ 体力度 1 2 ③ 4 5 6 $\nabla T1308m \sim G290 \approx 1018m$ 技術度 1 2 ③ 4 5 6		
走行距離	≈ Km 展望度 2 3 4 5 ⑥		
参加者	<p>後藤 隆徳 53 憧れのアンヌプリに皆で登れて良かった。</p> <p>高岡八千代 63 ラッセルをしながらのつぼ足で頂上に。うれしー。</p> <p>来生 博子 51 パウダースノーを被ったナナカマドの真赤な実をきれいだと思った。</p> <p>加藤 秀子 51 アンヌプリ頂上は2回ピストン。15分の違いで2回めは猛吹雪。冬山はこわい！</p> <p>花澤 秀治 41 体調不良で単独行動になってしまいました。すみません。</p> <p>渡辺 昭二 38 小ピーク～ゲレンデトップ迄の数分のライディングが全て。</p>		
第二日目	<p>ゲレンデ整備のライトに追われるよう薄暗い雪面を歩く。今回はじめてスノーシューを使用することとなった。わかんと違い、踵が動き幅もあるので少し抵抗があった。しかし、わかんより沈まないで登高できるような気はした。それにしてもゲレンデの雪がこのふか雪とは。</p> <p>今朝は暖かく、小休止する頃には汗が目に入り汗ダク。その後、心臓が苦しいという花澤さんと別れ後藤さんと2人で登ることにする。7時30分小休止。しだいに明るくなる。粉雪はずっと舞っている。眼下の山々が薄い水色と淡いグレーを混ぜたような不思議な色合いに見える。後藤さんについて行くには無理があり、どんどん離れて行く。最終リフトの乗り口から上はパウダーで埋まってしまい、膝～腰位。もがいても進まない場面も。スキーが3cm位沈む所で、スノーシューでは膝まで沈む所もあるのだから焦る。ニセコで登るならスプリットボード（二分割後、シール登高可）のほうが良いのか。</p> <p>手前のピークがガスの中から見え隠れする中を登る。雪は相変わらず舞い、三角形の稜線が素敵だ。先を行く後藤さんとピーク、しばし見とれる。時折ピークの上部のみ、ぼっかり青い窓が見える。カメラのシャッターが降りず、残念。雪に埋もれたハイマツの中ピークを目指す。後藤さんの速いこと、全然ついてゆけない。</p>		



⑤  
290

8：30手前のピークに着く。-10℃。しだいにホワイトアウトし、風も強くなる。背負ったボードがあおられ、スノーシューにつっかかりよろけて転倒する。後藤さんは、クランポンを装着。先に有るであろうピークに向い下降するべく下を見る。ほとんど見えず厳しそう。強風により恐怖感が加速してゆく。「やめよう」と後藤さん。安堵で胸をなでおろす。

後で後藤さんに聞いたのだが、ピークで白いウサギを見たそうだ。可愛い黄土色のおとしものがたくさんあったっけ。そして、おたのしみタイム。バインディングを締め、滑り出す。何となく、からだはこわばったまま。トラバースしながら下降すると、すぐに風はやんだ。大きな弧を描き滑るが、ダケカンバを除けようとターンすると転倒。全身が埋まってしまうくらいになり気持ちイイを通り越して「雪崩に埋まつたらこんな感じ?」と焦る。粉地獄。立つにも立てない。前はダケカンバ。ボードも脱げない。しばらく悪戦苦闘。このようなパウダーは初めてなので無理もないが、ターンをスムースに繋げられない。ラッセルでがくがくになった脚が、ますますいうことを聞かなくなる。パウダー……難しい…。

何回も転び、前転し、首を痛める。ほうほうのていでこなし、今度は右へ右へとゲレンデ間の樹林帯をトラバース。ツリーホールにはまり、首まで沈。やっとボードを装着しても、緩斜面ではボードが完全に雪に埋まって滑走できない。降参！。

東山のゲレンデを滑りだすとアンヌプリ山頂を目指す人陰。無線で花澤さんだとわかる。私達の登った稜線でなく、壁状の斜面を登高しているので後藤さんが稜線を行くようにすすめる。

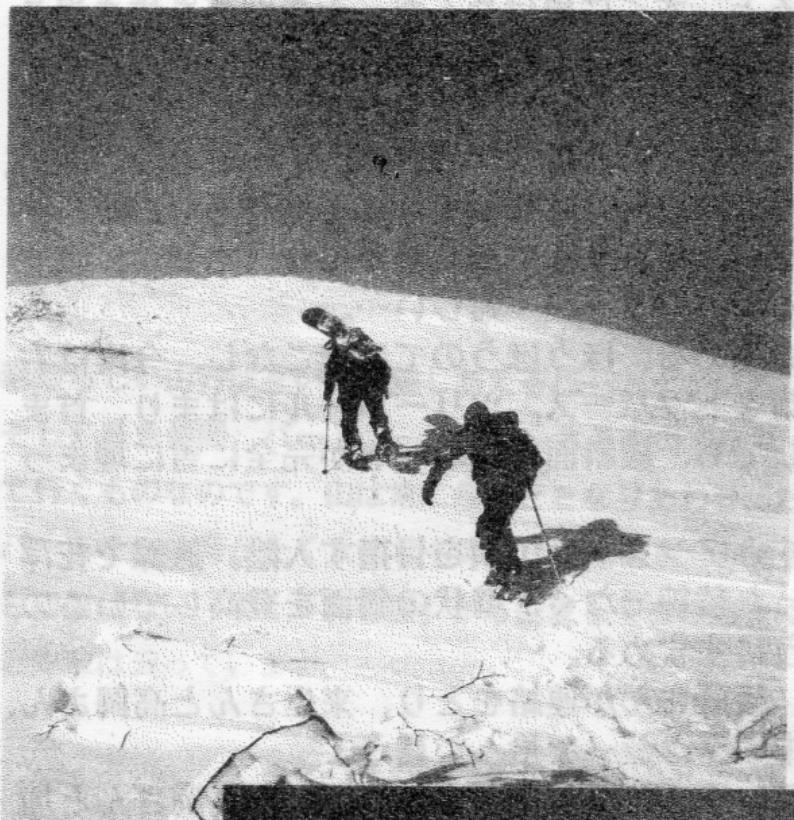
東山プリンス新館迄滑走。後藤さんが連絡をとり、来生さんと高岡さん、加藤さんが病院から帰る途中のタクシーで拾って貰う。

おいしいお昼を戴き、リラックス。午前中付き添いをした高岡さんと加藤さんにピークを踏んでもらうべく、今後の天候もわからないのでもう一アタックすることに。後藤さんはしばしの仮眠。僕はお風呂で、脚の疲労回復を促す。

午後は、最終ゴンドラの乗り口からの登高。さすがに加藤さんは強い。シールでどんどん登って行く。またまたついて行けない。高岡さんはスキーブーツで壺足。午前の踏跡は雪で消され、スノーシューで膝迄のラッセル。高岡さんはそこから更に腰までのラッセル。手前ピーク直下、後藤さんと加藤さんはキーをデポ。壺足で登る。

終始ダイヤモンドダストの舞う中、羊蹄山のピークが見えはじめ、高度感のある展望と相まって、えもゆわれぬ登高となる。「シベリアの風を感じる！」と口々に言う。それにしても、なんと美しいシュカブラだ。

本峰に着くと夕闇の近づく気配。手前のピークに戻る途中、高岡さんが見えた。そして、手前のピークで合流。壺足で登ったパワーに脱帽。そして3人はもう一度本峰へ。僕は1人滑り出す。フワフワのサラサラ。全身の力みも消える程の心地よさ。稜線のキュートなエッジを右に左に、ゆつ



(上・中) アンヌプリに向う

(下) 左のピークはアンヌプリの前衛山



(中) ( )  
·  
(下) ( )

前衛峰のさ



くりと静かに、大切にライディング。羊蹄山の眺めの良い斜面で腰を降ろす。ありがたくて涙が滲む。合掌。山でのスノーボーディングは僕を心の底からそんな気持ちにさせてくれる。寒さもあまり感じず、ずっと羊蹄山を見ていたら、後から明るい声で「ヤッホー」。後藤さんたちが来た。幸せな瞬間だ。そこからの約5ターンは人生最良のランディング。夕焼けに染まる羊蹄山に見守られ、これが全てといいきれる瞬間だった。

後藤さんと加藤さんがスキーを装着し、滑るのを下から見上げる。アンヌプリ頂上直下の三角形の稜線を背になんと絵になることか。ゲレンデトップ迄のパウダーをおもいおもいに味わい、あつという間にゲレンデに。

ここで花澤さんと合流。高岡さんはゴンドラを臨時で出してもらい、ホテルへ。他のメンバーは余韻を胸に滑る。もう薄暗く、雪面が見にくい。僕は少しトーンダウン。脚もしだいに押さえがきかなくなり、時々どこへ行ってしまうかわからなくなりそうで恐かったのでゆっくりとホテルへ向かう。

今日一日を噛みしめ、みなで祝盃をあげる。それにしても、来生さんとピークを踏めなかつたのは残念であった。パウダーは柔らかいが、転倒によってはかなりダメージが大きいということを思い知られた。

精神力…最近自分にはより必要であると痛感する。当初短時間ですむゲレンデで始めたスノーボード。それが滑れないうちから山に再デビュー。巡り巡ってまたここにいる。今回2ヶ月程無休で働いていた。そして山。けっこう気持ちが萎える。ずっと山に行ってないので恐ろしかった。行ってしまえば良いのだが。自分のコントロール、これが課題だ。ヒクソン・グレイシーのようにヨガが良いのか。それと雪崩講習。これは必須だろう。

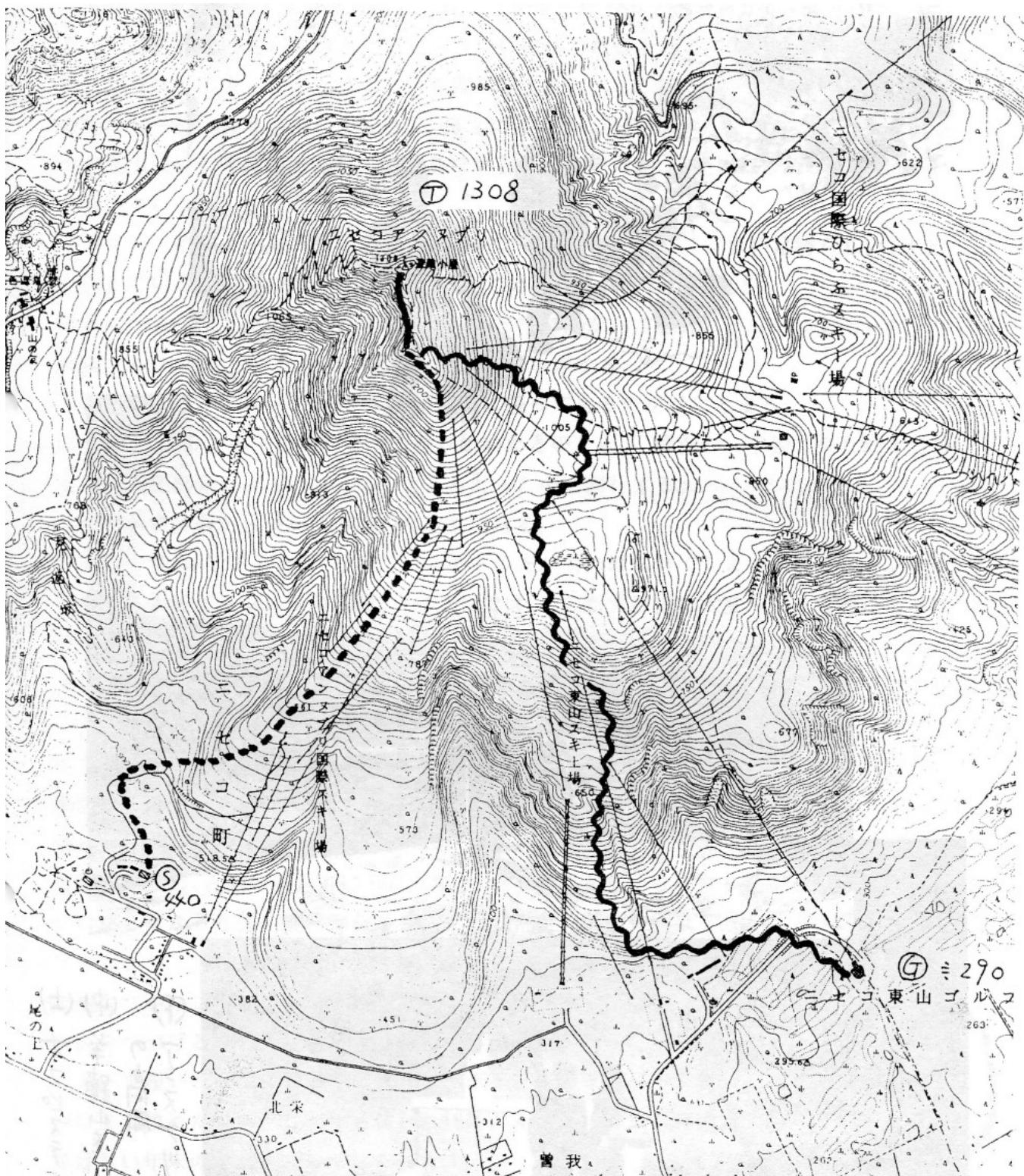
北海道へは、毎年行きたい。これは皆同じ気持ちだ。スノーボーダーの僕としては、まだそんなにツアーワンダーハウスはない。瞬間の煌めきがあれば。とりあえずニセコ周辺を少しづつ移動し、パウダーランを楽しみたい。

スノーボードを始めて2年弱、僕は山屋ではないし、スノーボーダーでもない。ナチュラリストの気持ち（気分だけ）でフリーラン。滑っているだけで満足だったのに…。だんだんわからなくなってきた。

今回のトリップは、後藤さんをはじめ皆さんのおかげで成しえたもので心から感謝に絶えないものだ。

1. 全員が無線を携帯。非常に有効だった。
  2. 1Hおきに三つのスキー場を結ぶバスがある。
  3. 登頂を主目的にするなら国際ルートがベスト。他は雪崩の危険が大きいので、前衛峰から南尾根を登るのが正しい。
  4. ゲレンデ目的なら「ひらふ」が良い。
  5. 国際の最上部リフトが運休で東山に横断できない。逆も大変だった。
  6. 例年だともっと雪が少ないとのことだが、これ以下だと楽しめない。

以上後藤



上り  $\approx 868m$

..... = シール歩行

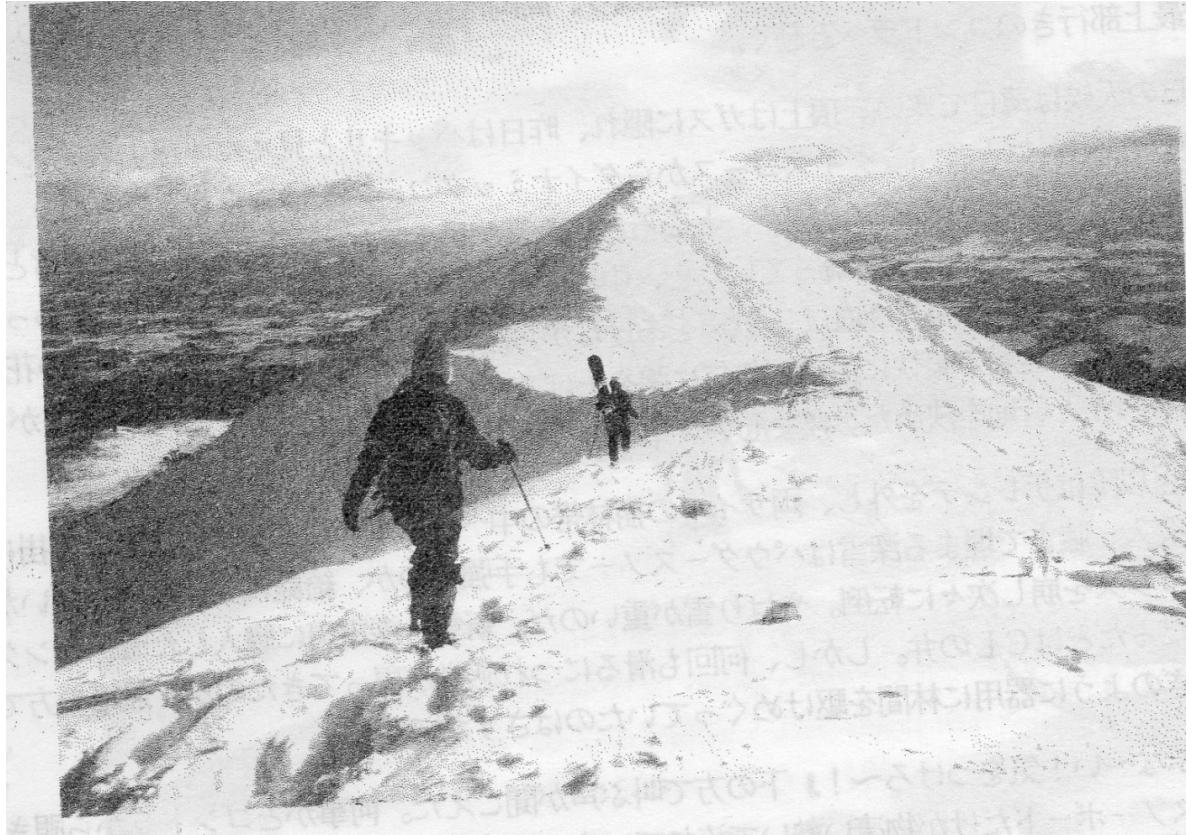
下り  $\approx 1018m$

— = つば足

~~~~ = スキー



(上) オフピステで遊んだ  
(中) 羊蹄山をバックにツボ足  
の高岡  
(下) アンヌアリ頂上

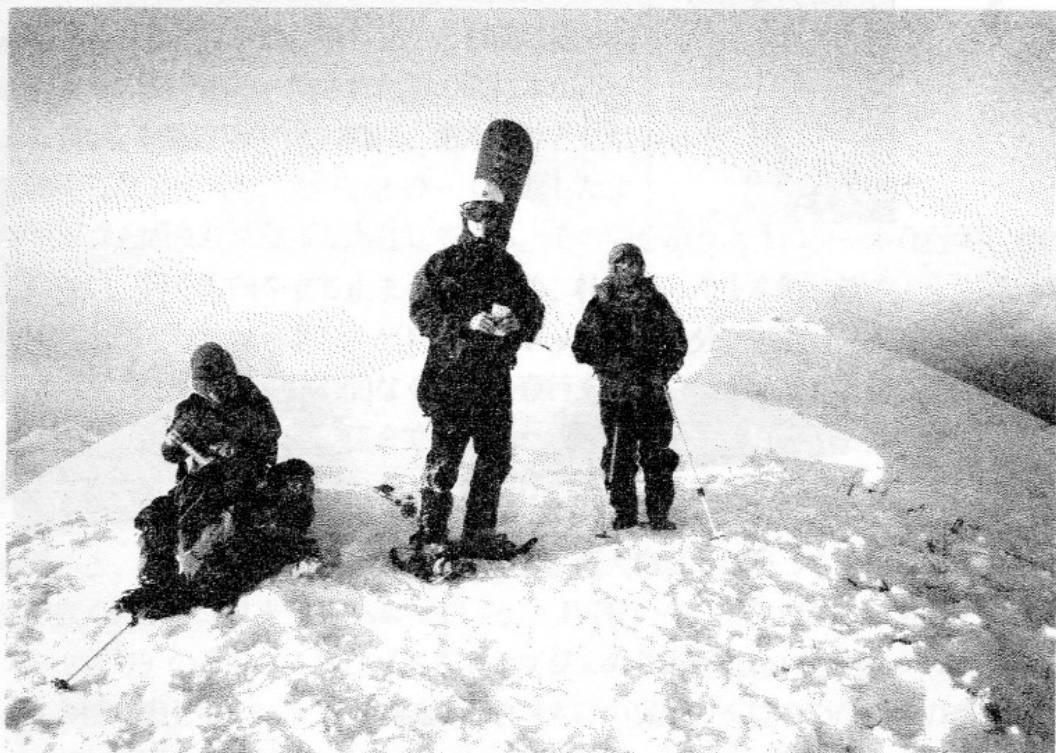


|                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                           |                                          |     |             |  |  |  |  |  |  |  |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------|-----|-------------|--|--|--|--|--|--|--|
| 山名                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 北海道・ニセコアンヌプリ山スキー                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                           |                                          | 報告者 | 加藤秀子        |  |  |  |  |  |  |  |
| この山のセールスポイント                                                                                                                                                                                                                                                                                   | <b>やはり林間は楽しいノダ！</b>                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                           |                                          |     |             |  |  |  |  |  |  |  |
| 12月10日(日)<br>コース及びタイム<br>(晴れ)                                                                                                                                                                                                                                                                  | 起床7:00-朝食-ゴンドラ発8:30-ホテル着11:30-風呂・昼食-近畿メイ<br>トバス発 14:50⇒千歳空港着 14:50-発 21:35-羽田空港着 23:05⇒羽田<br>空港駐車場発 23:45⇒東名高速裾野バス停 翌1:10⇒富士IC C1:30 |                                                                                                                                                                                           |                                          |     |             |  |  |  |  |  |  |  |
| 標高差                                                                                                                                                                                                                                                                                            | △S                                                                                                                                   | ~T                                                                                                                                                                                        | = m                                      | 体力度 | 1・2・③・4・5・6 |  |  |  |  |  |  |  |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                | ▼T                                                                                                                                   | ~G                                                                                                                                                                                        | = m                                      | 技術度 | 1・2・③・4・5・6 |  |  |  |  |  |  |  |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                           |                                          | 展望度 | 1・2・3・4・5・6 |  |  |  |  |  |  |  |
| 参加者                                                                                                                                                                                                                                                                                            | CL 後藤 隆徳                                                                                                                             | 53                                                                                                                                                                                        | 今日は林間で遊んでました。イかった。                       |     |             |  |  |  |  |  |  |  |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 花澤 秀治                                                                                                                                | 41                                                                                                                                                                                        | 3日間の中で今日の雪質は今イチだったが12月としては内地よりダンゼンい！     |     |             |  |  |  |  |  |  |  |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 渡辺 昭二                                                                                                                                | 38                                                                                                                                                                                        | 樹林のパウダーはノットラック。野兎といかないもののハッピーなライディングができた |     |             |  |  |  |  |  |  |  |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 高岡八千代                                                                                                                                | 63                                                                                                                                                                                        | 足がダルイ位良く滑った。北海道楽しかった。                    |     |             |  |  |  |  |  |  |  |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 来生 博子                                                                                                                                | 51                                                                                                                                                                                        | 今日も新雪を滑る仲間達を恨めしく眺めた・・・とにかく残念。            |     |             |  |  |  |  |  |  |  |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 加藤 秀子                                                                                                                                | 51                                                                                                                                                                                        | 林間の脛上である雪はパウダーでもやわらか大変。滑りは雪ではなく技術の問題？    |     |             |  |  |  |  |  |  |  |
| <b>三日目</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                      | 最終日の今日はゆっくりと起床。ホテルのバイキングを、窓の外の白銀の風景を眺めながら優雅にいただく。いつもは狭いテントの中で、未明起き様の食欲のない胃の中に、無理矢理餌を突っ込むという感じの朝食パターンだが今日は違う。和洋折衷のメニューにあったか御飯と納豆がある。決してガッつく事なくたらふく食べた。たまには、こんなのもイイ。（地元産のジャガイモと牛乳が特別おいしかった） |                                          |     |             |  |  |  |  |  |  |  |
| 心配していた来生の足も、骨折は免れたようでまずは一安心。（帰着後、病院での再診で骨折とわかる）病院で借りた松葉杖も板につき、歩行も随分楽になったようである。出発時間ギリギリ迄ゲレンデを楽しもうと、来生は居残り、高岡は初心者コースのリフトへ、後のメンバーは最上部行きのゴンドラへと赴く。                                                                                                                                                 |                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                           |                                          |     |             |  |  |  |  |  |  |  |
| 今日の天候は薄日で寒い。頂上はガスに隠れ、昨日はハッキリと見た羊蹄山も何処へやら。先ずは足慣らしにと、パラダイスコースからダイナミックコースをゆっくりとひと滑り。上部の斜面はどことなくゴツゴツと固く、ところどころ笹が見え隠れ。ウン？何か昨日の雪と感触が違うぞ・・・と思いながら滑っていくと、中程辺りから足応えのあるいい感触に変わった。渡辺がサーフィンの波乗りの如く、歓声をあげながら流麗に滑る。山スキー歴4年目の花澤はしっかりとした足腰で豪快に滑降。年毎に腕を上げるCLは、パウダーの雪煙をあげながら綺麗にきっちりと着地を決めた。羨ましい。早くこういう滑りがしたいものだ。 |                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                           |                                          |     |             |  |  |  |  |  |  |  |
| 2回目以降はゲレンデを外し、両サイドの樹林帯の中へ『イヤッホ～！』のCLの掛け声と共に突入。膝まで埋まる深雪はパウダースノーでも手強いのか、綺麗に豪快に決めていた3人もバランスを崩し次々に転倒。やはり雪が重いのだ。新雪・深雪用に購入したカービングでも同じだったとはCLの弁。しかし、何回も滑るにつれ感覚が戻ってきたのか、最後の方では野うさぎのように器用に林間を駆けめぐっていたのはさすがです。                                                                                           |                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                           |                                          |     |             |  |  |  |  |  |  |  |
| 『あぶな～い！気をつけろ～！』下の方で叫ぶ声が聞こえた。何事かとゴンドラから覗き込むと、スノーボードだけが物凄い勢いで流れていく。流れていく方向を見ると、滑っている人                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                           |                                          |     |             |  |  |  |  |  |  |  |

『ハツ』に付く。ハヤー杖も向かい、外れた杖は動く凶器と化す。幸い人に当たらず何事もなく済んで良かったものの、もし人にぶつかったら・・・と考えただけでもゾッとする。山スキーの場合は板が流れないように「流れ止め紐」がついているが、ホントは必要ではないのだろうか。

林間で日一杯遊んで、最後は最上部からゲレンデを丁寧に滑り込み、ニセコのパウダースノーと別れを惜しんだ。ホテルに戻り、先ず宅急便で送る荷物の段取りと手配を済ませ、それから昼食。最後に風呂で温まりロビーで近畿のメイトバスを待つ。その間話に花が咲く。男風呂で何とストリーキングがあったそうな。風呂の外へ抜けるドアから雪上を走って何処まで行けるか・・・試してみたんだと。うちのメンバーはそんなハシタナイ事をする人は誰も居ないと信じていたのに、率先して行ったとは。何とマア～。素晴らしい！

定刻通り来たバスに乗り込み往路を走る。疲れからか乗車と同時に眠り込んでしまい、気がついた時は千歳空港に着いた時だった。最終の東京行きの飛行機に乗り「静岡・山スキーの会」第1回の山行が終わった。来生の骨折というアクシデントがあったが、本人のヤル気は満々でリハビリを一生懸命頑張って、一日も早く皆と一緒に滑りたいとコメントがあった。そして来年もう一度ニセコに行ってみたいと。それ程パウダースノーは魅力があったのだ。



ツ木足の高岡と合流した



楽しく  
楽しんだ